1 学年通信

平成28年 7 月19日

Breakthrough

No. 5

◆ 夏季休業が始まります

入学から3ヶ月たちました。合格発表の時、合格者説明会の時、入学式の時、皆さんは、どのような思いを抱いていましたか。この3ヶ月間を振り返ってみて、自分で思ったような高校生活を送れましたか。はやいもので、もうすぐ夏休みです。

部活動にしても、学習面にしても中学校の時とは違って、思うようにいかないことが多かったのではないのでしょうか。中学校時代に通用したやり方では、対応できないことも出てきているのではないのでしょうか。中学校から、高等学校へとステップアップしたように、皆さんの生活もステップアップしなければなりません。部活動でも学習面でも高校で要求されるレベルに自分自身を引き上げる努力が必要です。そのためにどうしたら良いかを、苦悶することが高校生活です。提示された物を、なんとなくこなしていく生活ではなく、**何が自分に必要かを熟考し、どうしたら必要な物が獲得できるかを考えてください。**入学からの3ヶ月を反省し、生活を修正するには、夏休みは良い機会です。夏休みに自分自身をよく見つめ、逞しい高校生として9月をスタートさせてください。

◆ 今後の主な日程

7月21日	木	⑤学年集会(5時間目の授業は6時間目に実施)
7月22日	金	①②③授業・昼休・清掃・任命式等・集会
7月23日	土	SS 課題研究発表会 於：駿優教育会館 【理数科の課題研究を知ろう】 2・3年理数科並びに1年生全員参加 ※直接自転車で行ってはいけません (茨城大学水戸キャンパス オープンキャンパス) 【午後は茨城大学研究】
7月25日 ～29日	月 金	夏季課外 (午前中 70分・3時間) 【学習習慣をしっかりと身に付けよう】 全員参加の課外です
7月30日	土	河合塾記述模擬試験 【力試しです しっかり問題に食らい付こう】
8月1・2日	月・火	学校説明会 【弱点克服と飛躍の一ヶ月、 時間を無駄にしない生活を送ろう】
8月30日 30・31日	火 火・水	清掃・放送集会 第2回課題考査 【課題をしっかりとこなして臨もう】 課題考査科目 SS数学α・英語・SS物理α・SS生物α ・現代文・古典・保健
9月1日	木	平常授業開始 【授業再開、9月も張り切っていこう】
9月17日	土	補習課外 【保護者と一緒に学科、コースを検討しよう】 学科コース最終選択説明会(生徒・保護者全員)

★夏休み中は、5時まで教室での自習が可能です。ただし、エアコンの使用は、学年で2教室だけです。

4・5組を**エアコン自習室**とします。その他の教室で自習しても結構ですが、エアコンは使用しないでください。

◆ It is the one that is most adaptable to change.

各クラスに「螢雪時代」が置かれています。見たことありますか。基本的には、高校3年生向けの内容ですが、高校1年生にとっても役に立つ情報が載っています。木村達哉の“Power of Words.”はやる気になる話が載っているのでぜひ読んで欲しいと思います。7月号から一つ抜粋しましたので、ぜひ心に刻んでください。

◆ It is the one that is most adaptable to change. (チャールズ・ダーウィン)

全体は“**It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is most adaptable to change.**”となります。日本語にすると、「生き残る種とは、もっとも強い種ではなく、もっとも知的な種でもない。それはもっとも変化に適応できる種である」となります。(中略)数年前の常識は、次々と常識ではなくなっています。大学受験においても、入試方法や出題傾向などは年々変化しています。これは、大学が社会からのニーズに答えているからです。皆さんも、その**変化に対応した勉強を進めていかなければなりません。**そうでないと、例えば大学には合格しても、社会に出たら役立たない人材だった、ということになりかねません。過去の勉強法のいいところをピックアップしながらも、現在のニーズに合わせて新しい勉強法を取り入れていかなければなりません。とくに英語の場合、国公立大学ではすでに読解力と発信力(とくに英文を書く力、なかでも日本語を英語に直す力)の比重が大きくなってきています。読解力の面では、じっくりと読んで解答するよりも迅速に読んで答える力を見るために、解答時間内では解き切れないような分量の英文を出題する大学も増えてきました。一文一文構造分析をしながら読んでいてはどういって追いつかないので、**過去に良しとされた勉強方法では対応できないこと**になります。

そういった変化を嘆くのではなく、社会が求めていることなのだから対応できるよう努力しようと意識を高く持ち、どうすれば対応できるだろうと考え、最新の情報を集めつつ努力することが重要です。**対応力をもった人こそが生き残れるのだ**ということを胸に刻み、日々の努力を重ねましょう。

◆ 大学の改革

現在、多くの大学で入試改革が進んでいます。新しい情報をしっかりとつかみ、それに応じた準備をしましょう。上記の木村先生も書いているように、対応力は、入試だけでなく人生の色々な場面で必要になるスキルです。

★茨城大学の主な変更

◆ 人文学部

人文コミュニケーション学科
社会科学科

現代社会学科
法律経済学科
人間文化学科

◆ 農学部

生物生産科学科
資源生物科学科
地域環境科学科

食生命科学科
地域総合農学科
国際食産業科学コース
バイオサイエンスコース
農業科学コース
地域共生コース

◆ 教育学部

情報文化・人間環境教育課程募集停止

★他の大学でも変更があります、常に新しい情報を入手するようにしましょう。

★ゲーテは、青年期を「疾風怒濤」の時代と名付けました。青年期は、心が乱れ、将来への不安があって当たり前の時期です。「逞しい高校生」と書きましたが、もし夏休みを思ったように過ごせなかったとしても、9月に登校してきてください。必ず、登校してきてください。